
4 部屋 :

4 部屋が良いと思います。

当地のような中小地方都市であれば、男女各 2 名程度でよいと思われま

4 部屋。更に、利用期間との係りも考える必要がある。生活保護との係り上、SS を利用せざるを得ない場合もあり、そういう関係からは多いほうが良い

男女各 2 名

最低 2 部屋、希望としては 4 部屋 ; 理由 : 同じ日に男性と女性とから SS の利用希望がある場合や同姓同士の利用であっても、1 人になりたいという希望がある場合に 1 部屋では対応しきれないため

12 年度途中集計上からは、実質は平均 3 名 = 3 室の利用である。実際、運営上からは空き室がなく、先の受け付けとなることもあり、ニーズに応じて敏速に対応できるためには、4 室が必要

その他 :

現在の利用状況においては、6 室で大方の需要に対応できています

一般入所、ショートステイと分けない利用法が望ましいのでは。

SS の利用頻度は、月によって違い、非常に利用頻度が高い月もあれば、低い月もあります。利用頻度が高い月の時には、対応できないので、SS 等用の部屋は多い方が良いと思います。

現在は、専用部屋以外の空室があり、そちらを利用しているので、間に合っていますが、今後は必要かもしれません。

平成12年度厚生科学特別研究 厚生科学特別研究事業
精神障害者の短期入所施設のあり方に関する研究

主任研究者 谷中輝雄
発行日 平成13年3月
発行所 (研究事務局)
全国精神障害者社会復帰施設協会
〒113-0034 東京都文京区湯島 3-16-13
トーキョーユニオンビル4F401
TEL 03-5812-0830 FAX 03-5812-0831
印刷所 (株)カントー
